

第1回西区まちづくり懇談会 会議要旨

1 **開催日時** 平成31年（2019年）3月1日 午後6時30分～午後8時15分

2 **開催場所** 西区役所4階 研修室

3 出席者

(1) 委員（18人中17人出席）

石崎委員、泉委員、岩井委員、梅本委員、浦委員、川崎委員、眞田委員、谷口委員、椿原委員、内藤委員、朴委員、橋川委員、原田委員、古道委員、満田委員、村上委員、本西委員

(2) 西区役所

区長、副区長、地域起こし推進課長

(3) 企画総務局

政策企画課総合計画担当課長

4 議題

(1) 座長、副座長の選出

(2) 広島市総合計画審議会の審議状況等について

(3) 西区まちづくり懇談会について

5 **公開・非公開の別** 公開

6 **傍聴者** なし

7 会議資料

(1) 議事資料

議事資料1 広島市総合計画審議会の審議状況について

議事資料2 第1回西区まちづくり懇談会について

議事資料3 西区のまちづくりの方向性について

(2) 参考資料

参考資料1 広島市が直面する中核課題に対する対応策の検討について

参考資料2 西区の概要

参考資料3 委員へのアンケート結果

参考資料4 西区における区の魅力と活力向上推進事業の取組

参考資料5 西区まちづくり懇談会開催要綱

8 議事内容等

(1) 座長、副座長の選出

座長には朴委員が、副座長には谷口委員が選出された。

(2) 広島市総合計画審議会の審議状況について

議事資料1により、企画総務局政策企画課総合計画担当課長が審議状況の説明を行った。

(3) 西区まちづくり懇談会について

議事資料2、議事資料3及び参考資料4により、地域起こし推進課長が説明を行った。

<発言の要旨>

内藤委員

犯罪、災害ともになかなか防げないのが現状である。警察でも、防犯ではなく減らそう犯罪として取組を進めている。また、先日の災害もそうであるが、防ごうとしても防げない災害がある。これからは災害も犯罪も減らそうという観点で進めていくことも重要である。

副区長

確かに減災ということで、例えば砂防ダムを整備するなど行っている。災害がなくなることはないのでできる限り減らしていこうということであり、減災というのも大変重要である。

浦委員

西区は小学校も中学校もバスケットボールが強く、今月、井口ミニバスケットボール同好会女子が全国大会へ出場するなど、この10年、20年西区の小学校、中学校がバスケットボール界を引っ張ってきている。

バスケットボールは、世界では競技人口ナンバーワンで4～5億人、日本では60万人以上が競技者登録している。また、最近では、バスケットゴール1つで3×3（スリーパイスリー）という3人制のバスケットボールも誕生し、2020年東京オリンピックの正式種目となっている。

西区はバスケットボールが盛んなので、例えば、公園に1つずつバスケットゴールを設置すれば、子どもたちは外で遊ぶようになる。3人いればチーム競技ができるし、スペースもそれほど必要ない。西区として特徴を出すためにバスケットボールは有効であると思う。

広島ドラゴンフライズは西区でずっと活動しているが、子どもや外国人に受け入れられやすいバスケットボールを通じて、コミュニティを作るといったサポートができると思う。活動の担い手がないということであれば、ドラゴンフライズの観客と連携して活動してもらおうといったことができるのではないかと。力になればと思う。

内藤委員

横川駅周辺は開発が進み、地域コミュニティも活発に活動している。西広島駅周辺もこれから開発されていくが、民間の力も活用して、地域と密着したにぎわい機能を持った駅を提案できたらと思う。

副区長

西広島駅の現状を説明すると、民間の再開発事業が1つあるのと、広島市が大きな事業を3つ進めている。民間では再開発組合による再開発ビルの整備が計画されている。広島市が進めている事業の1つ目は南北自由通路の整備である。2つ目は南口と北口の整備である。南口は広場の整備、北口は区画整理をして新たな商業施設や広場を整備してバスが乗り入れできるようにする。3つ目はアストラムラインの延伸である。

川崎委員

再開発について、現在は JR、広島電鉄、準備組合、広島市の4者で話をしているところである。アストラムラインの延伸は12年後であるが、2年半後に JR 西広島駅の駅舎が整備されるため、まずはそこに向けて勉強会などを開催している。

岩井委員

非常に多くの活動や団体があったり、開発が進むのだと西区を魅力的に感じた。いろいろなイベントに興味はあるが、平日働いて土日だけだと、なかなかそういった情報に接する機会がない。情報を提示しているとは思いますが、伝えるという点により力を入れて欲しい。情報量が多すぎると見られない。

最近の子育て支援では、ホームスタートという家庭に来て一緒に家事や育児をするという支援活動がある。そのような形で、地域の方と交流しながら情報を得るなど一歩踏み込んで教えてもらえるとありがたい。

また、図書館が横川にしかなく、土日に市の施設を利用することがあまりないと西区に住む先輩が話していたので、西側にも図書館があるとよい。

副区長

PR 下手というのは西区に限らず、市役所全体の大きな課題である。西区はフェイスブックのアカウントを作ってハイキングなどの情報を提供しているので、そちらも見たい。

図書館については、公民館にも図書室があるので、そちらも利用してみたい。

橋川委員

まちづくりの行事をたくさんしているのに広報がばらばらである。年間スケジュールが決まっているので、カレンダー式で作ったらよいのではないかと。また、公民館

だよりの中に区の広報スペースを作って情報提供したらよい。

それから、アンケートで後継者不足という課題認識を持つ委員が多かったが、地域に貢献する活動を民間企業の業務の一環として協力してもらおう。一緒になって行動するようなことができないか。これは行政が積極的に民間企業にアプローチしていただきたい。

副区長

今の提案については、全市的な取組とは別に、西区が独自にどのようなことができるか考えていかなければならないと思う。

広報については、公民館だよりは区役所でも配付しているが、区の事業の情報は載せていない。

地域起こし推進課長

共催事業の場合は公民館だよりも情報を載せているが、西区独自の事業の場合は、載せてもらっていない。載せてもらえるのであればありがたい。

橋川委員

区は区民だよりを発行しているが、情報量が多すぎて、必要な情報が見つからない。

原田委員

西区の身体障害者手帳の所持者は約 6,000 人。地域に入って身体障害者が活動するのはなかなか難しい。公民館でもエレベーターがないところはまだある。西広島駅も今回の整備により使えるようになるということで非常に楽しみにしている。このようにまずは環境の整備に力を入れていただきたい。また、行事についても、例えば先ほどバスケットボールの話が出たが、身体障害者も応援に来て欲しいとか、そのような交流ができれば、障害者もスポーツを楽しむことができ、地域ともつながりができる。障害者施設の充実とともに地域の行事への参加を促すことで、地域に存在が知ってもらえるので、そのような仕組みを作っていただきたい。

満田委員

西区のスポーツセンターは、1994 年に開催されたアジア大会よりも前に建てられたもので古い。今年は耐震工事をするので、少し補修工事をして、外装をきれいにして欲しい。

副区長

スポーツセンターを所管するスポーツ振興課へ伝えるが、広島市は多くの公共施設を抱えており、いろいろな施設を直していかなければならないので、雨漏りがするなど機能面で支障がない限りは難しい。